

# LA フォーマットエディター

## 操作説明書 フォーマット作成編

マニュアルの構成 (フォーマットエディターのマニュアルは、以下の 2 編から構成されています。)

フォーマット作成編	ラベルのフォーマットを新たに作成する方法を説明しています。その他、データのバックアップとリストアの方法、環境設定についても解説しています。
データ登録編	フォーマットへのデータの登録方法を説明しています。その他、データのコピー方法や削除方法も記載しています。

# 目次

## 概要

---

フォーマットエディターについて.....	3
フォーマットエディターを起動/終了する.....	4

## フォーマットの操作

---

フォーマットを新規に作成する.....	5
フォーマットを保存する.....	6
フォーマットを開く.....	6
フォーマットをコピーする.....	7
フォーマット名を変更する.....	7
フォーマットを削除する.....	8
フォーマットを USB メモリーに書き込む.....	8

## ラベルのデザイン

---

ラベルレイアウト画面.....	9
表示サイズを変更する.....	9
ラベルを設定する.....	10
線・ボックスを作成する.....	11
文字を作成する.....	13
リンクデータに設定する.....	17
バーコードを作成する.....	18
画像を配置する.....	20
アイテムを選択する.....	21
アイテムを配置する.....	22
アイテムを複製する.....	23
アイテムを削除する.....	23
アイテム名を変更する.....	24
ラベルの出し方向を変更する.....	24
アイテムリンクによる文字列の参照.....	25
呼出しコードテーブル.....	26
データテーブルのチェック.....	26

## オプション・環境設定

---

オプションメニュー.....	27
データのバックアップ・リストア.....	27
環境設定.....	28
印字微調プロファイル(ラベラーごとの微調整).....	30

# 概要

## フォーマットエディターについて

フォーマットエディターは、ラベルのフォーマットを作成し、ラベラー制御盤に転送するためのツールです。フォーマットエディターには、以下の基本機能があります。

- フォーマットの作成
- リンクデータの編集

### ■フォーマットとリンクデータ

通常、ラベラーで発行するラベルには、各商品固有の部分(商品名やバーコードなど)とすべてに共通の部分(表組みや製造者名など)があります。フォーマットエディターでは、フォーマットを1つ作成し、商品ごとに異なる部分をリンクデータとして登録することによって、複数の商品用ラベルを作成することができます。

#### 1 フォーマットを作成

ラベルのサイズを設定して、文字・線・バーコード・画像などの「アイテム」を配置します。

#### 2 リンクデータを設定

商品ごとに異なるアイテムを「リンクデータ」に設定します。

#### 3 リンクデータを登録


「リンクデータ」(実際の印字内容)をリンクデータテーブルの各フィールドに登録します。

#### 4 ラベルを発行

「呼出しコード」で印字内容を選択して発行します。

#### フォーマット

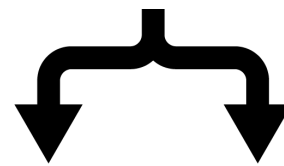
品名	TEXT-01
原材料名	TEXT-02
原産地	TEXT-03
内容量	TEXT-04
消費期限	TEXT-05
保存方法	TEXT-06
製造者	株式会社OSP 大阪市天王寺区小橋町1番 TEL06-6763-6771

1 234567 890128 


+

#### リンクデータ

呼出しコード	見出し文字	品名	原材料名	原産地	内容
▶0001	新商品A	商品A	原材料1、原材料2、	日本海	100g
0002	新商品B	商品B	原材料5、原材料6、	日本海	200g



品名	商品 A
原材料名	原材料1、原材料2、原材料3、原材料4
原産地	日本海
内容量	100g
消費期限	2003.09.17
保存方法	要冷蔵(5℃以下)
製造者	株式会社OSP 大阪市天王寺区小橋町1番 TEL06-6763-6771

1 234567 890128 

商品A用のラベル  
呼出しコード0001を選択。

品名	商品 B
原材料名	原材料5、原材料6、原材料7、原材料8
原産地	日本海
内容量	200g
消費期限	2003.09.17
保存方法	要冷蔵(5℃以下)
製造者	株式会社OSP 大阪市天王寺区小橋町1番 TEL06-6763-6771

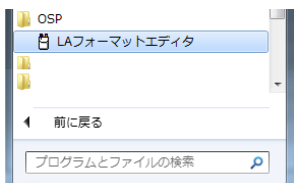
5 040464 546545 

商品B用のラベル  
呼出しコード0002を選択。

## フォーマットエディターを起動/終了する

### フォーマットエディターを起動する

- 1 Windows タスクバーの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]から[OSP] – [LA フォーマットエディタ]をクリックします。



- フォーマットエディターが起動して、[メインメニュー]が表示されます。



### フォーマットエディターを終了する

- 1 [メインメニュー]に戻ります。
  - 各画面の[閉じる]または[戻る]ボタンをクリックして、[メインメニュー]に戻ってください。
- 2 [メインメニュー]で[終了]ボタンをクリックします。

**参考** 終了時にパソコンの電源を自動的に切るには

[環境設定]の[自動シャットダウン](⇒p.28)を設定すると、フォーマットエディター終了後に、パソコンの電源を自動的に切ることができます。

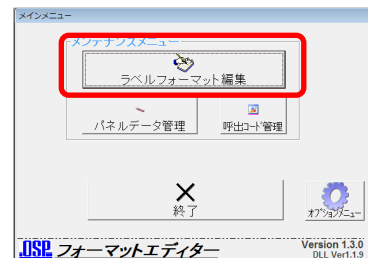
# フォーマットの操作

## フォーマットを新規に作成する

- 既存のフォーマットをコピーして作成することもできます(⇒p.7)。

3 [メインメニュー]で[ラベルフォーマット編集]ボタンをクリックします。

- [フォーマットの選択]画面が表示されます。



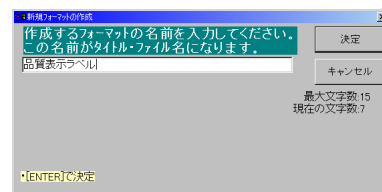
4 [新規作成]ボタンをクリックします。

- [新規フォーマットの作成]ダイアログが表示されます。



5 フォーマット名を入力して、[決定]をクリックします。

- フォーマット名は 15 文字以内で入力してください。
- [ラベルの設定]ダイアログが表示されます。



6 ラベルの設定を行い、[OK]をクリックします。

- p.10を参照して各項目を設定してください。
- [OK]をクリックすると、[フォーマットの編集]画面が表示されます。

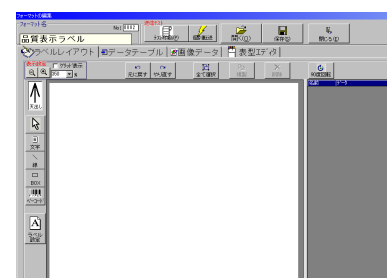
### 参考

いつも同じラベルを使用する場合は、[環境設定]の[既定値設定](⇒p.30)を設定しておけば、変更箇所が少なくて済みます。



7 [ラベルレイアウト]画面でデザインを作成します。

- 他の画面が表示されている場合は、[ラベルレイアウト]タブをクリックしてください。
- 操作方法は、『ラベルのデザイン』(⇒p.9)を参照してください。



## フォーマットを保存する

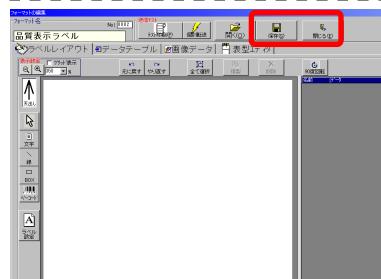
### 1 上部の[保存]ボタンをクリックします。

- 確認のダイアログが表示されます。

### 2 [OK]をクリックして保存します。

### 3 [閉じる]ボタンをクリックしてフォーマットを閉じます。

- [メインメニュー]に戻ります。



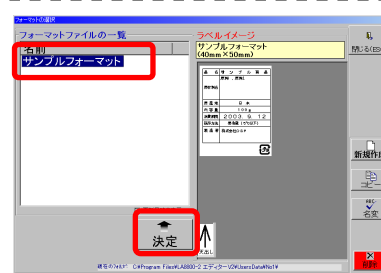
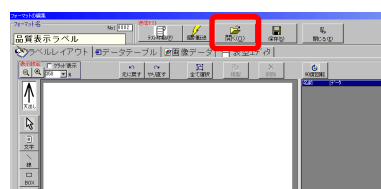
## フォーマットを開く

### 1 [フォーマットの選択]画面を表示します。

- [メインメニュー]からは[ラベルフォーマット編集]ボタンをクリックしてください。
- [フォーマットの編集]画面からは上部の[開く]ボタンをクリックしてください。

### 2 [フォーマットファイルの一覧]からフォーマットをクリックして選択し、[決定]ボタンをクリックします。

- [フォーマットファイルの一覧]からフォーマットをダブルクリックして開くこともできます。
- [フォーマットの編集]画面が表示されます。



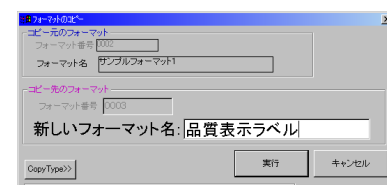
## フォーマットをコピーする

- 1 [フォーマットの選択]画面を表示します。
  - [メインメニュー]からは[ラベルフォーマット編集]ボタンをクリックしてください。
  - [フォーマットの編集]画面からは上部の[開く]ボタンをクリックしてください。

- 2 [フォーマットファイルの一覧]からコピー元のフォーマットをクリックして選択し、[コピー]ボタンをクリックします。
  - [フォーマットのコピー]ダイアログが表示されます。



- 3 新しいフォーマット名を入力して[実行]をクリックします。
  - フォーマット名は 15 文字以内で指定してください。
  - コピーしたフォーマットが[フォーマットファイルの一覧]に追加されます。



**参考** [Copy Type]ボタンについて  
[Copy Type]ボタンは、コピー時のリンクデータの扱い方を設定するためのものです。通常は変更しないでください。デフォルト値は[コピー作成(定義のみコピー)]です。

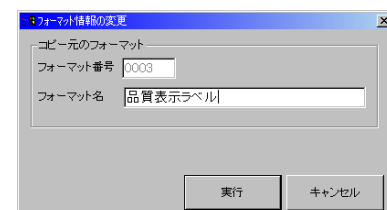
## フォーマット名を変更する

- 4 [フォーマットの選択]画面を表示します。
  - [メインメニュー]からは[ラベルフォーマット編集]ボタンをクリックしてください。
  - [フォーマットの編集]画面からは上部の[開く]ボタンをクリックしてください。

- 5 [フォーマットファイルの一覧]からフォーマットをクリックして選択し、[名変]ボタンをクリックします。
  - [フォーマット情報の変更]ダイアログが表示されます。



- 6 新しいフォーマット名を入力して[実行]をクリックします。
  - 「リンクデータテーブル」の名前も同様に変更するか確認するメッセージが表示されます。



- 7 通常は[OK]をクリックしてください。

## フォーマットを削除する



### 注意

- 削除したフォーマットは復元できません。慎重に削除してください。
- リンクデータテーブルは後に利用できる場合がありますので、慎重に削除してください。

1 [フォーマットの選択]画面を表示します。

- [メインメニュー]からは[ラベルフォーマット編集]ボタンをクリックしてください。
- [フォーマットの編集]画面からは上部の[開く]ボタンをクリックしてください。

2 [フォーマットファイルの一覧]からフォーマットをクリックして選択し、[削除]ボタンをクリックします。

- 確認のメッセージが表示されます。



3 削除するには[OK]をクリックします。

- 中止するには[キャンセル]をクリックしてください。
- [OK]をクリックすると、リンクデータテーブルも削除するか確認するメッセージが表示されます。

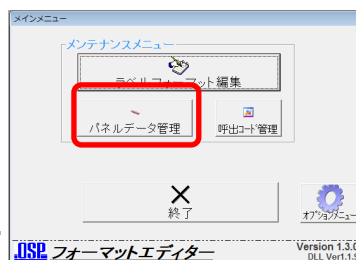
4 削除するには[OK]をクリックします。

- リンクデータテーブルを削除しない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

## フォーマットを USB メモリーに書き込む

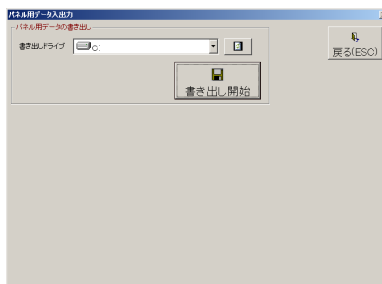
1 [メインメニュー]で[パネルデータ管理]ボタンをクリックします。

- [パネル用データ入出力]画面が表示されます。



2 USB メモリーをパソコンにセットします。

3 [書き出しドライブ]プルダウンから USB メモリーのドライブを選択し、[書き出し開始]をクリックします。

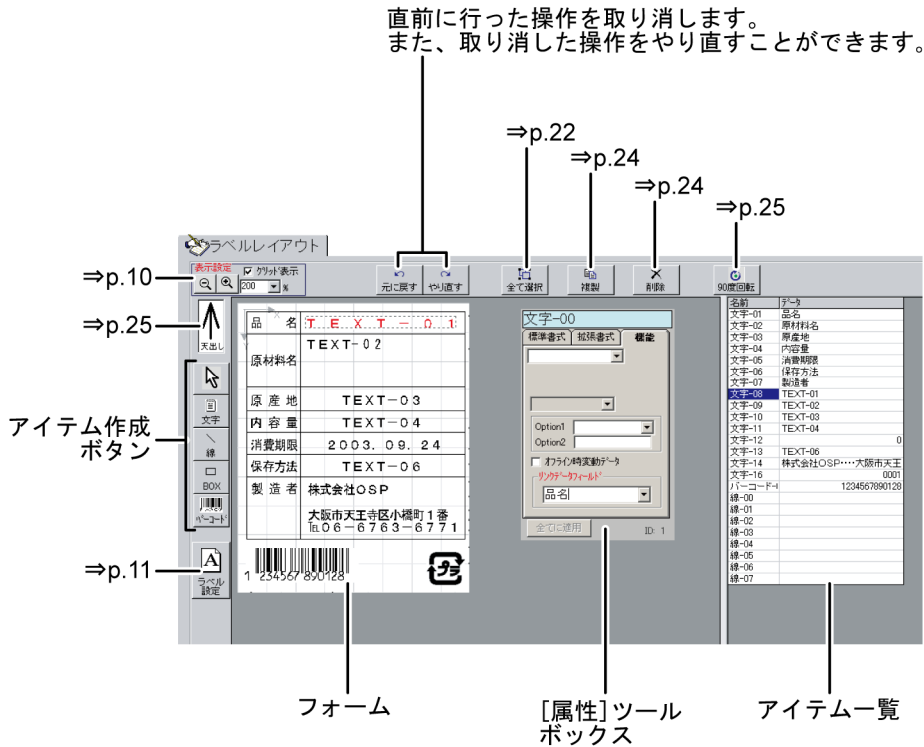




# ラベルのデザイン

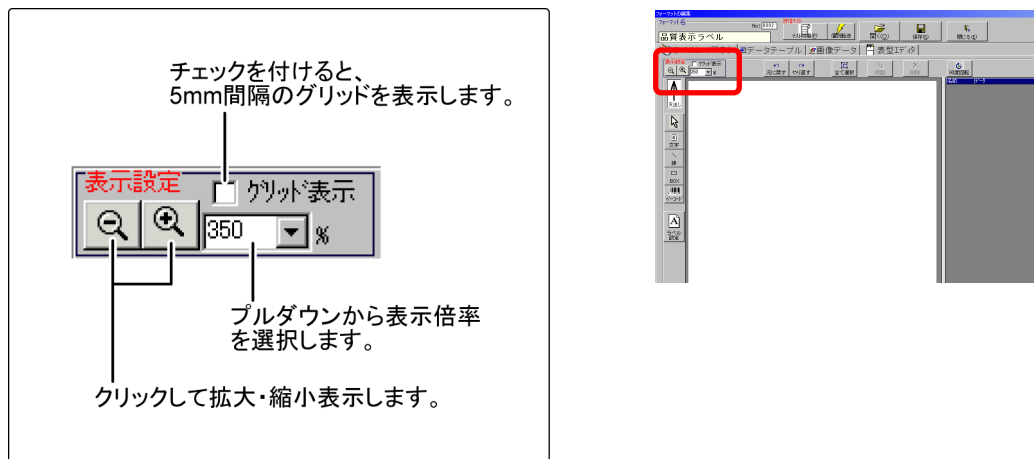
## ラベルレイアウト画面

ラベルのデザインは[ラベルレイアウト]画面で作成します。線やボックス、文字、バーコードなどのラベルの要素を「アイテム」といい、それぞれのアイテム作成ボタンをクリックして作成していきます。アイテムを作成・選択すると、その属性を設定するための[属性]ツールボックスが表示されます。



## 表示サイズを変更する

デザイン作業を行いやすいように、フォームの表示倍率を変更したり、グリッドを表示することができます。



## ラベルを設定する

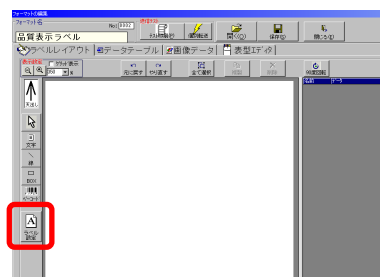
サイズや頭出し量など、ラベルに関する基本設定を行います。

1 [ラベルレイアウト]画面で[ラベル設定]ボタンをクリックします。

- [ラベルの設定]ダイアログが表示されます。

2 各項目を設定して[OK]をクリックします。

- 以下を参照して各項目を設定してください。



### ■ラベルサイズ

ラベルに関する以下の項目を設定してください。

- ラベルの幅
- ラベルの長さ(送り)
- ラベル間の隙間
- ラベラーからの繰り出し方向



### ■詳細設定

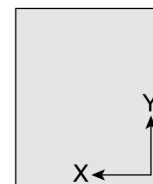
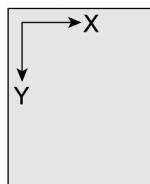
転写/サーマル	ラベラーの印字方式を選択します。
頭出し量	ラベラーでのラベル停止位置を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ラベルサイズの設定が正しければ、参考値が右側に表示されます。通常は、その数値を設定してください。</li></ul>
X座標補正	印字位置座標の補正值(mm)を設定します。
Y座標補正	<ul style="list-style-type: none"><li>● フォーマットの新規作成時は、初期値のままで使用してください。</li></ul>
印字電圧調整	印字電圧を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● フォーマットの新規作成時は、初期値のままで使用してください。</li></ul>

### ■座標系について

ラベル上の位置の基準となる原点(0, 0)は、出し方向によって右図のように異なります。

- 原点位置は、グリッドを表示する(⇒p.9)と表示されます。

天出しの原点(0, 0)は左上



地出しの原点(0, 0)は右下

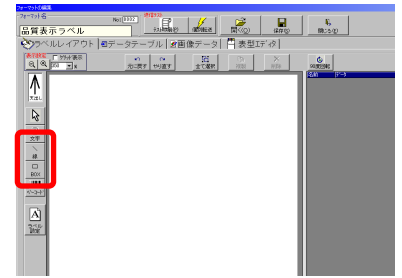
## 線・ボックスを作成する

### 線・ボックスを作成する

1 [線]または[BOX]ボタンをクリックします。

2 開始点でマウスの左ボタンを押し、終了点までドラッグします。

- 斜線を引くには、[SHIFT]キーを押した状態で終了点を指定してください。



開始点で左ボタンを押し、



終了点で左ボタンを放す。

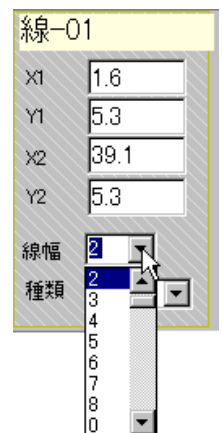
開始点で左ボタンを押し、



[SHIFT]キーを押した状態で、左ボタンを放す。

3 線の太さを設定します。

- [属性]ツールボックスの[線幅]プルダウン(ドット単位)から選択してください。
- 線・ボックスの位置とサイズは、[属性]ツールボックス(⇒p.12)で数値を指定して変更できます。



#### 参考

ラベルの表組みは、以下の機能を使用して効率よく作成することができます。

- アイテムをコピーする ⇒p.23
- アイテムを整列させる ⇒p.22
- アイテムを均等配置する ⇒p.22

## 線・ボックスを變形する

線・ボックスは、「ハンドル」という青い四角形をドラッグして變形します。

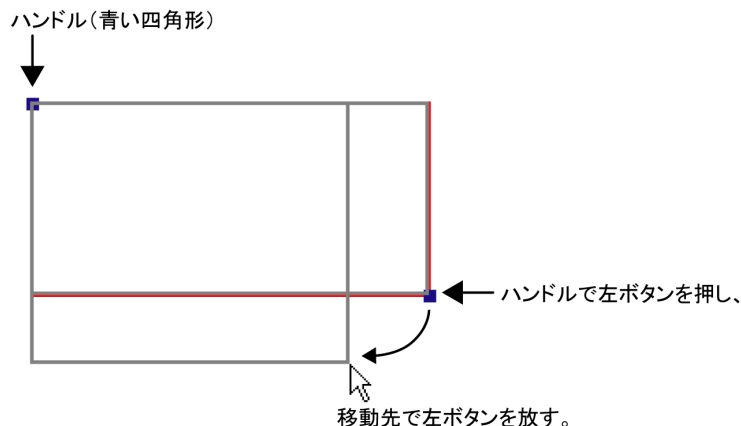
- 線の太さは、[属性]ツールボックスで変更します。(⇒次項)
- 線・ボックスのサイズは、数値指定で變形することもできます。(⇒次項)

### 1 線またはボックスをクリックして選択します。

- 赤色表示になり、ハンドル(青い四角形)が表示されます。

### 2 ハンドルで左ボタンを押し、移動先までドラッグします。

- 斜線に変更するには、[SHIFT]キーを押した状態で移動先を指定してください。



## 線・ボックスの属性を設定する

線・ボックスの線の太さやサイズなどの属性を設定します。線・ボックスをクリックして選択し、[属性]ツールボックスで設定してください。

- 数値をクリックして反転表示にし、新しい数値を入力します。入力後、[Enter]キーを押すと、変更内容がアイテムに反映されます。
- プルダウンは右側の▼をクリックして表示します。新しい数値をクリックして選択すると、変更内容がアイテムに反映されます。

線-01	
X1	8.5
Y1	16.4
X2	28.8
Y2	27.1
線幅	2
種類	BOX

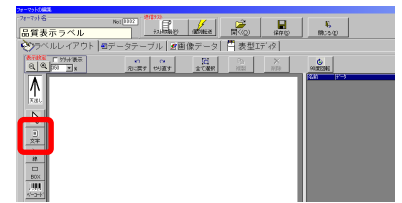
X1(X軸座標)	開始点の座標を mm 単位で指定します。
Y1(Y軸座標)	● 座標系について⇒p.10
X2(X軸座標)	終了点の座標を mm 単位で指定します。
Y2(Y軸座標)	● 座標系について⇒p.10
線幅	線の太さをドット単位で指定します。
種類	斜線をボックスに、ボックスを斜線に切り替えることができます。

# 文字を作成する

## 文字を作成する

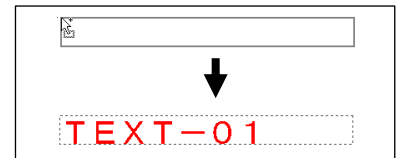
### 1 [文字]ボタンをクリックします。

- 文字の領域を示す枠が表示されます。



### 2 文字を配置する位置でクリックします。

- 作成した文字には、右図のように「TEXT-01」などの仮データが表示されます。このデータは実際印字する文字データに変更しますが、その前に文字種類や文字数などの体裁を整えると(⇒次項)、レイアウトしやすくなります。



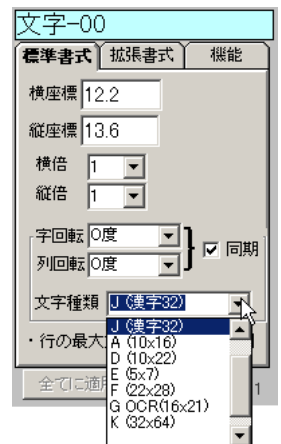
## 文字の体裁を整える

文字種類や文字数など、基本的な体裁を[属性]ツールボックスで設定します。

### 1 文字アイテムをクリックして選択します。

### 2 文字種類を設定します。

- [標準書式]タブの[文字種類]プルダウンから、文字種類を選択してください。
- その他、[標準書式]タブでは文字の位置やサイズなどを設定できます(⇒p.16)。
- 文字種類によっては、画面表示と実際の印字が異なる場合があります。

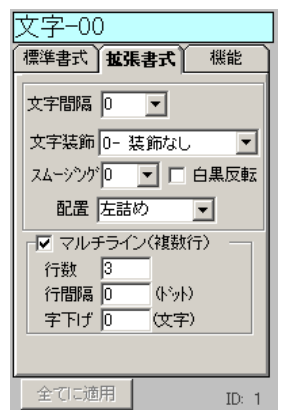


### 3 1行の文字数を設定します。

- [行の最大文字数]ボックスに文字数を入力してください。

### 4 複数行にする場合は行数を設定します。

- [拡張書式]タブの[マルチライン]にチェックマークを付け、[行数]を設定してください。



### 5 文字の配置を設定します。

- [配置]プルダウンから配置方法を選択してください。
- [センタリング][均等割付]では、[センタリングエリア]ボックスに、エリアの幅を mm 単位で設定できます。

品名	均等割付
原材料名	左詰め
原産地	センタリング

←センタリングエリア→

## 文字データを設定する

文字アイテムに文字データを設定します。

- 文字数などの基本的な体裁は、事前に[属性]ツールボックスで設定しておいてください(⇒p.13)。
- リンクデータに設定する場合でも、レイアウト用に仮の文字データを入力しておくことができます。

1 文字アイテムをクリックして選択します。

TEXT-07

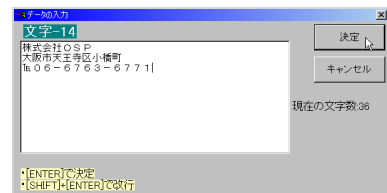


2 右クリックして、サブメニューから[文字入力]を選択します。

- [データの入力]ダイアログが表示されます。

3 文字を入力して[決定]をクリックします。

- 複数行を入力するには、行末で[Shift]+[Enter]キーを押してください。

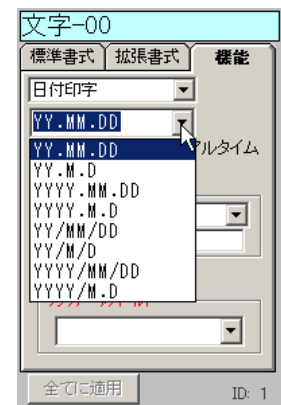


## 日付・時間を印字する

文字アイテムで日付を印字するように設定します。

1 文字アイテムをクリックして選択します。

2 [機能]タブで[日付印字]を選択し、下のプルダウンで日付の形式を設定します。



### ■年を4桁にするには

[環境設定]の[年の書式](⇒p.29)を4桁に設定してください。また、制御盤を操作して日付を4桁に設定してください(⇒『LA-9800/8シリーズ取扱説明書』)。

### ■日付の特殊印字(オンラインモードでのみ有効)

Windows標準の日付書式を使用できます。[あり-]の後に手動で入力してください。

### ■n日後の日付を印字するには

- 何日後にするかを文字データ(⇒上記)に設定します。なお、設定する数値は、[環境設定]の[日付計算タイプ](⇒p.29)の設定によって異なります。
- リンクデータに設定する場合は、リンクデータに上記と同じ数字を登録してください。

### ■時間印字

時刻を印字します。データの呼び出し時刻または印字時刻(リアルタイム)を選択できます。

## 変動データに設定する(オフラインモードでのみ有効)

[オフライン時変動データ]にチェックを付けると、制御盤を操作して印刷データを読み出し、データの変更を行えます。ただし、入力できる文字は英数字のみです。

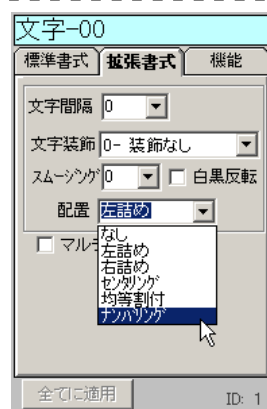
- 日付の値は当日を含む計算になります。(日付が 0 または 1 の場合、制御盤の日付になります。)
- 変動データの入力方法は、『LA-9800 / 8 シリーズ取扱説明書』を参照してください。
- オンラインモードでは、[ラベル印刷・貼付作業]画面で手入力によるデータ変更が可能になります。



## ナンバリングを印字する

ラベルを 1 枚発行するごとにカウントアップするナンバリングを設定することができます。

- 1 文字アイテムをクリックして選択します。
- 2 [拡張書式]タブの[配置]プルダウンから[ナンバリング]を選択します。
- 3 ナンバリングの開始番号を文字データに設定します。
  - 文字データの設定⇒p.14



## 文字の属性を設定する

文字種類や書式などの属性を設定します。文字を選択し、[属性]ツールボックスで設定してください。

- 文字種類によっては、画面表示と実際の印字が異なる場合があります。

### ■標準書式

横座標(X軸座標)	文字の位置をmm単位で指定します。
縦座標(Y軸座標)	● 座標系について⇒p.10
横倍	文字のサイズを縦横の倍率で指定します。
縦倍	
字回転	文字または文字列を回転する角度(右回転)を指定します。[同期]にチェックを付けると、両方に同じ角度が適用されます。
列回転	
文字種類	文字の種類を指定します(⇒p.13)。 ● [グラフィック]と[g(画像)]について⇒p.20
行の最大文字数	1行の最大文字数を指定します(⇒p.13)。

### ■拡張書式

文字間隔	文字と文字の間隔をドット単位で指定します。
文字装飾	ボールドや縁取りなど、文字の装飾を指定します。
スムージング	文字にスムージングを適用します。
白黒反転	チェックを付けると、背景が黒、文字が白になります。
配置	文字列の配置を設定します。 ● [ナンバリング]について⇒p.15
マルチライン	複数行入力できるようにします。チェックを付け、[行数][行間隔][字下げ]を指定してください(⇒p.13)。

### ■機能

日付印字 時刻印字	印字する日付または時刻の形式を指定します。
全角で印字	チェックを付けると、日付・時間を全角で印字します。
リアルタイム	チェックを付けると、リアルタイム(印字時刻)を印字します。
Option1・Option2	これらはプログラム参照用です。直接入力しないでください。
オフライン時変動データ	オフライン呼び出し時の変更可否を指定します。 ● 変動可能なデータは英数字とピリオドのみです。 ● 詳細⇒p.15
リンクデータフィールド	印字データの差込みフィールドを指定します。 ● 詳細⇒p.17

- [日付]と[時間印字]は、同時には使用できません。

### ■属性の一括変更

複数の文字の属性を一括で変更できます。例えば、すべての[文字種類]を「漢字 24」に一括で変更できます。基準とする文字を最後に選択し、[属性]ツールボックスの[全てに適用]をクリックしてください。

- 位置情報は変更されません。



## リンクデータに設定する

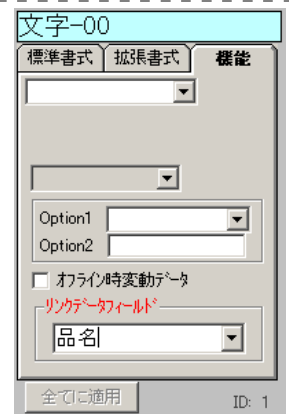
商品名やバーコードなど、商品ごとに異なる部分はリンクデータに設定します。リンクデータに設定するには、[属性]ツールボックスでデータテーブル中の対応するフィールドを指定します。

- フォーマットとリンクデータについて⇒p.3

### フィールドを新規に作成する

新規フォームの場合は、データテーブルにフィールドを追加します。リンクデータにするアイテムすべてに以下の操作を行ってください。

- 1 文字またはバーコードをクリックして選択します。
- 2 [属性]ツールボックスの[機能]タブで、[リンクデータフィールド]をクリックして選択します。
- 3 フィールド名を入力して[Enter]キーを押します。
  - フィールドを作成するかどうかを確認するメッセージが表示されません。
- 4 [OK]をクリックしてフィールドを作成します。
  - この操作によって、[データテーブル]にフィールドが追加されます。



### 既存のフィールドを指定する

- 1 文字またはバーコードをクリックして選択します。
- 2 [属性]ツールボックスの[機能]タブで、[リンクデータフィールド]プルダウンからフィールドを選択します。



### リンクを解除する

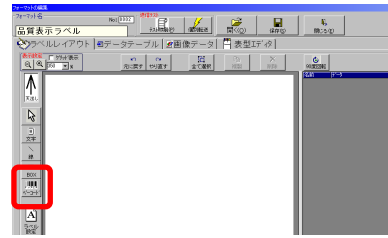
- 1 文字またはバーコードをクリックして選択します。
- 2 [属性]ツールボックスの[機能]タブで、[リンクデータフィールド]プルダウンから「空白」を選択します。

## バーコードを作成する

### バーコードを作成する

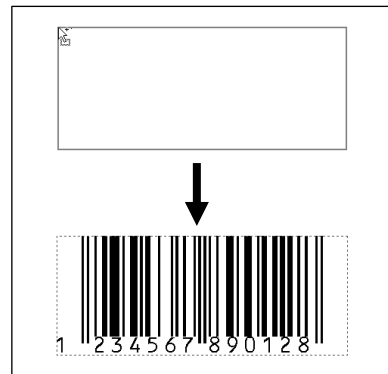
1 [バーコード]ボタンをクリックします。

- バーコードの領域を示す枠が表示されます。



2 バーコードを配置する位置でクリックします。

- バーコードが作成されます。



3 バーコードの種類を設定します。

- [書式]タブの[バー種類]プルダウンから、バーコードの種類を選択してください。

4 バーコードのサイズと太モジュールの太さを設定します。

- [バー高さ] (mm)と[モジュール太さ] (ドット)に数値を入力し、[Enter]キーを押してください。



#### ■バーサイズについて

- JAN13 と JAN8 では、太バーサイズを基本とした構成で印字されます。この場合、細バーとバースペースを設定しても無効になります。
- CODE39 では、太バーと細バーでサイズ構成を決定します。通常は、比率が「太バー:細バー=2.5:1~3.0:1」の範囲内で設定してください。

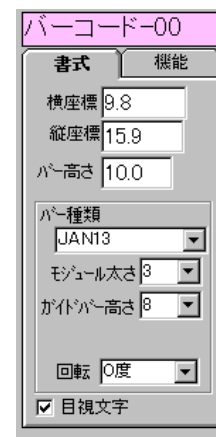
## バーコードの属性を設定する

バー種類やサイズなどの属性を設定します。バーコードをクリックして選択し、[属性]ツールボックスで設定してください。

- 数値はクリックして反転表示にし、新しい数値を入力します。入力後、[Enter]キーを押すと、変更内容がアイテムに反映されます。
- プルダウンは、右側の▼をクリックして表示します。新しい設定をクリックして選択すると、変更内容がアイテムに反映されます。

### ■書式

横座標(X軸座標)	バーコードの位置(左上角)をmm単位で指定します。
縦座標(Y軸座標)	● 座標系について⇒p.10
バー高さ	バーコードの高さをmm単位で指定します。
バー種類	バーコードの種類を指定します。
モジュール太さ	太バーのサイズをドット単位で指定します。
ガイドバー高さ	JAN13とJAN8でのガイドバーの高さを指定します。
細バーサイズ	細バーのサイズをドット単位で指定します。
バースペース	CODE39またはNW7の場合、キャラクタ間のギャップをドット単位で指定します。 ● 通常は“0”を指定してください。
回転	回転角度を指定します。
目視文字	チェックを付けると、バーコード下の数字を印字します。

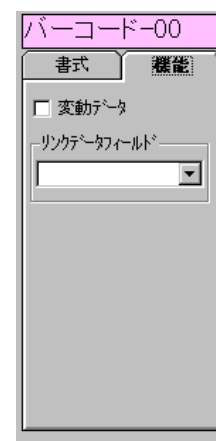


### 回転について

印字の状態によっては、90度または270度回転したバーコードの読み取りが悪くなる場合があります。極力0度または180度でを使用することをお勧めします。

### ■機能

変動データ	オフライン呼び出し時の変更可否を指定します。
リンクデータフィールド	リンクデータのフィールド名を指定します。 ● 詳細⇒p.17



## 画像を配置する

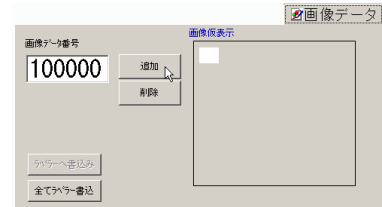
ラベラーでロゴマークなどの画像を印字するためには、フォーマットエディターにビットマップ(BMP)形式の画像を登録し、フォーマットデータといっしょにUSBメモリーに書き込みます。

- フォーマットを書き込む操作を行うと、画像データも書き込まれます。「フォーマットを USBメモリーに書き込む」(⇒p.8)を参照してください。

## 画像データを登録する

- 1 [画像データ]画面で[追加]ボタンをクリックします。

- [取り込み BMP ファイル選択]ダイアログが表示されます。

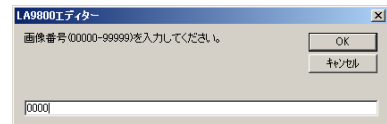


- 2 登録するビットマップファイルを選択して、[開く]をクリックします。

- [画像番号指定]ダイアログが開きます。
- 「プラ・紙マーク」のサンプル画像(BMP)は、プログラムがインストールされているフォルダ下の[サンプル BMP]フォルダにあります。

- 3 追加する画像番号を入力して、[OK]をクリックします。

- 画像番号は4桁以内の数字で入力してください。既存の番号を指定すると、上書きされますので注意してください。



### 参考

[ラベラーへ書き込み]、[全てラベラーへ書き込み]、[GT 印字パターンとして登録]ボタンは、通常操作では使用しません。

## 画像を配置する

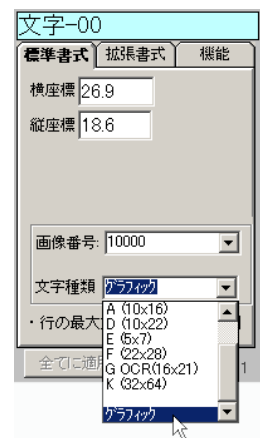
- 1 [ラベルレイアウト]画面で文字を作成します。

- 文字の作成方法⇒p.13

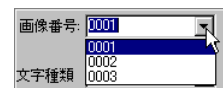
- 2 [属性]ツールボックスの[標準書式]で、[文字種類]プルダウンから[グラフィック]を選択します。

### 参考 [g(画像)]について

[g(画像)]は、フォーマットエディターの以前のバージョンとの互換性のためのもです。



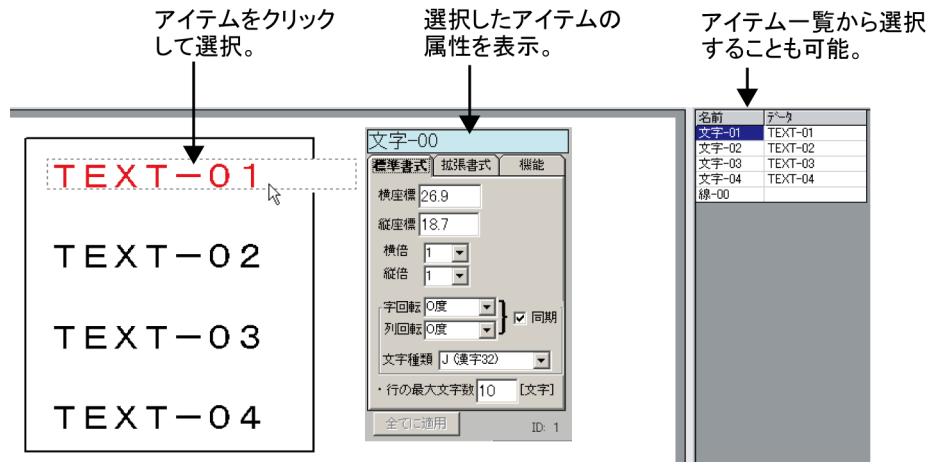
- 3 [画像番号]プルダウンから画像を選択します。



# アイテムを選択する

## アイテムを選択する

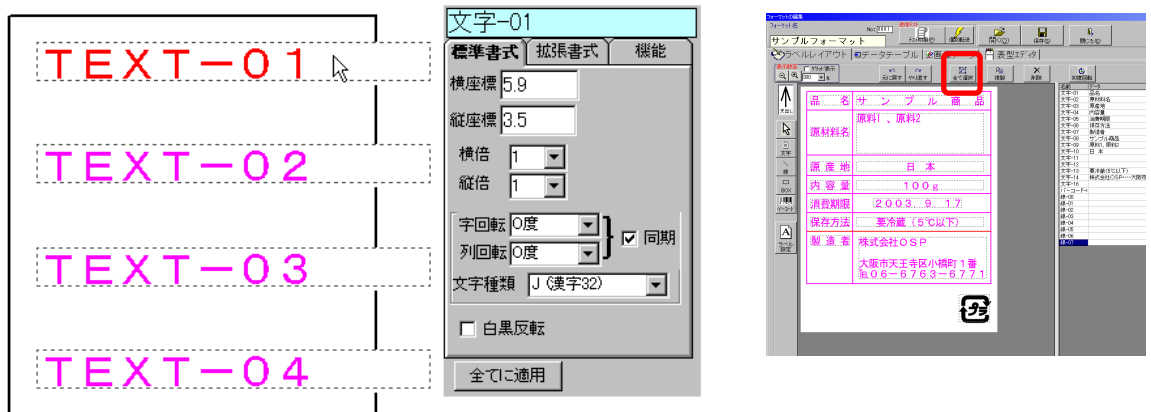
アイテムはクリックして選択します。アイテムを選択すると、その属性が[属性]ツールボックスに表示されます。また、アイテムは、右側のアイテム一覧から選択することもできます。



## 複数のアイテムを選択する

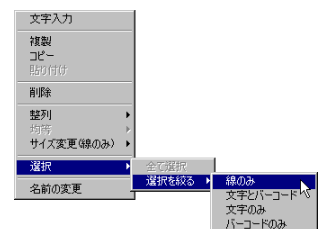
複数のアイテムを選択するには、[SHIFT]キーを押した状態でアイテムをクリックしていきます。また、マウスをドラッグして範囲選択すると、範囲内のすべてのアイテムを選択できます。その他、[全て選択]ボタンをクリックして、フォーム上のすべてのアイテムを選択することもできます。複数のアイテムを選択した場合、[属性]ツールボックスには、最後に選択したアイテムの属性が表示されます。

- 複数のアイテムを選択すると、[整列]や[均等] (⇒p.22)、一括削除・一括変更などの機能を使用できます。



## 選択を絞り込む

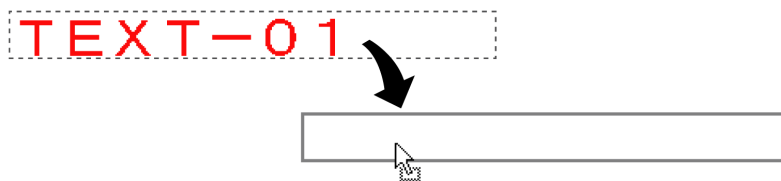
複数のアイテムを選択した状態で、アイテムを絞り込むことができます。右クリックし、[選択]-[選択を絞る]から絞り込む要素を選択してください。



## アイテムを配置する

### アイテムを移動する

アイテムは、ドラッグアンドドロップで簡単に移動できるほか、カーソル移動キーを使って 1mm 単位で移動することもできます。また、[Shift] キーを押した状態でカーソル移動キーを押せば、0.1mm 単位で移動できます。



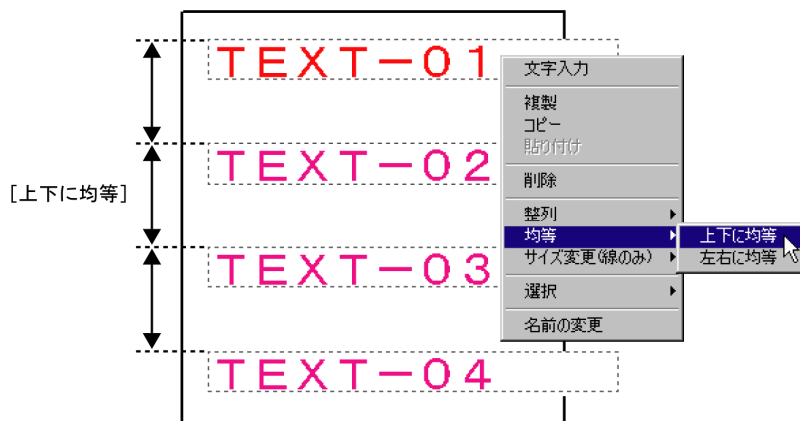
### アイテムを整列させる

複数のアイテムを選択(⇒p.21)し、最後に選択したアイテムに位置を揃えることができます。アイテム上で右クリックし、サブメニューの[整列]から揃える方向を選択してください。



### アイテムを均等に配置する

3 つ以上のアイテムを選択(⇒p.21)すると、各アイテムを均等に配置できます。アイテム上で右クリックし、サブメニューの[均等]から方向を選択してください。



## アイテムを複製する

選択したアイテムと同じ属性を持つアイテムを作成します。複数のアイテムを選択(⇒p.21)して、一度に複製することもできます。

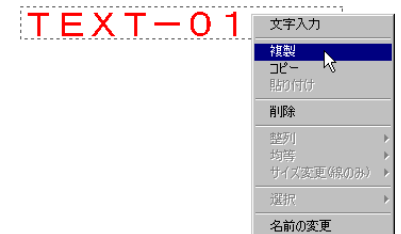
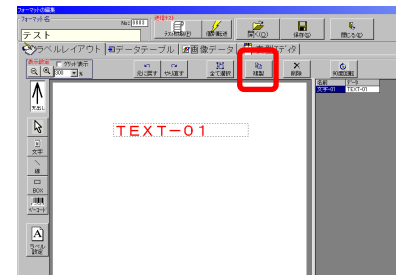
アイテムを選択して、[複製]ボタンをクリックします。

または

アイテムを選択して右クリックし、サブメニューから[複製]を選択します。

**参考** 他のフォーマットにコピーするには

サブメニューから[コピー]を選択すると、コピーしたアイテムの情報は、[フォーマットの編集]画面を閉じるまで保持されるので、コピー操作後に他のフォーマットを呼び出して貼り付けることで、アイテムを他のフォーマットにコピーできます。



## アイテムを削除する

複数のアイテムを選択(⇒p.21)して、一度に削除することもできます。

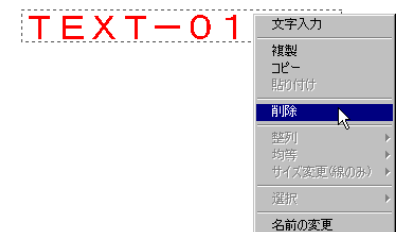
アイテムを選択して、[削除]ボタンをクリックします。

または

アイテムを選択して右クリックし、サブメニューから[削除]を選択します。

または

アイテムを選択して、[Delete]キーを押します。

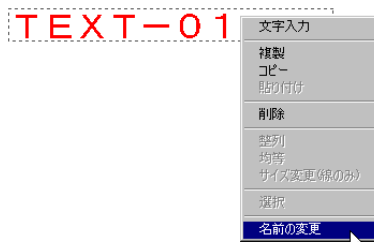


## アイテム名を変更する

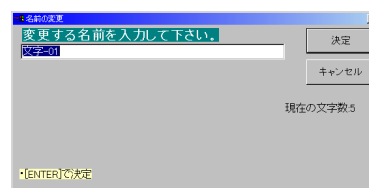
アイテム名は作成時に自動的に付加されますが、必要に応じて変更することができます。

- 1 アイテムを選択して右クリックし、サブメニューから [名前の変更] を選択します。

- [名前の変更] ダイアログが表示されます。



- 2 新しい名前を入力して [決定] をクリックします。



## ラベルの出し方向を変更する

貼付方向の変更などによって、ラベルの出し方向を変更しなければならない場合でも、[90度回転]機能を使用して簡単に変更できます。

- 画像は、[90度回転]機能で回転させることができません。事前に回転させたビットマップ画像を用意しておいてください。

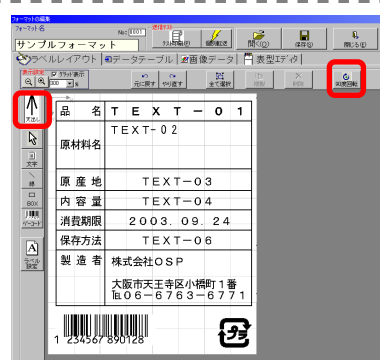
- 1 [天出し/地出し] ボタンをダブルクリックして、出し方向を切り替えます。

- 天出し/地出しが切り替わり、画面表示が 180 度回転します。

- 2 [90度回転] ボタンを 2 回クリックして、全アイテムを 180 度回転させます。

- 3 画像がある場合は、正しい角度の画像に変更します。

- 画像の変更方法⇒p.20



### [90度回転]について

[90度回転]ボタンをクリックすると、ラベルサイズを含む全アイテムの情報を90度右に回転させることができます。なお、90度または270度回転したバーコードは、読み取りが悪くなる場合があります。バーコードは、0度または180度で使用することをお勧めします。



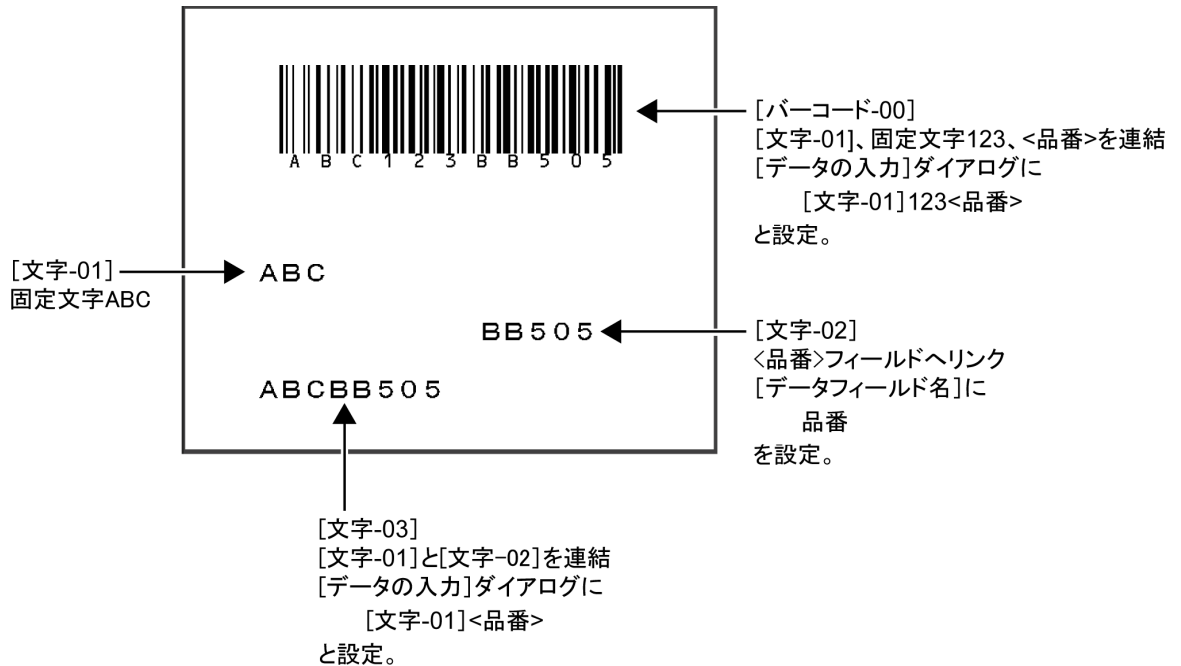
## アイテムリンクによる文字列の参照

文字とバーコードでは、他の文字のデータを参照することができます。この機能を「アイテムリンク」といい、「データフィールド」を参照することもできます。これらの機能は複数指定でき、固定文字列を含めた参照結果を自動で得ることができます。

### ■表記方法

- 参照する文字アイテムの名前を [ ] でくくって、対象になるアイテムの文字データに設定します。
- データフィールドは、フィールド名を < > でくくって入力します。

### ■設定例

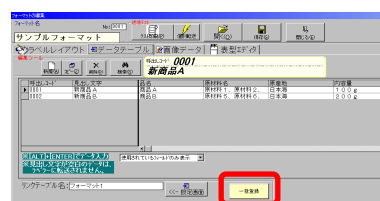
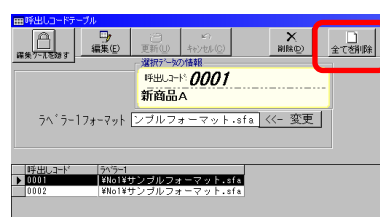
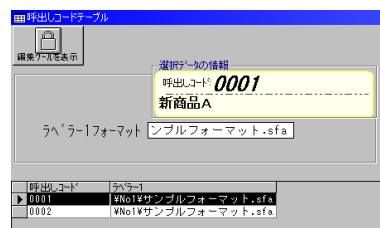


## 呼出しコードテーブル

オンライン・オフラインに関わらず、印刷するデータを決定するためには、各データに一意的インデックスが必要です。フォーマットエディターでは、印刷データに一意的インデックスを付けて「呼出しコードテーブル」で管理しています。このテーブルには、「呼出しコード」というインデックスとそれに対応した「使用フォーマット名」が登録されます。

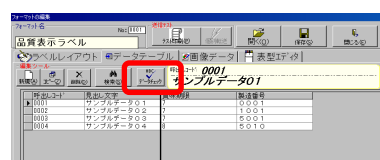
これらの情報は、[データテーブル]画面で編集を行った時点で、呼出しコードテーブルに自動的に登録されます。例えば、「フォーマット 1」を開き、データテーブルに「0001」を追加すると、呼出しコードテーブルに「0001 に対応するのはフォーマット 1 である」という情報が自動的に登録されます。登録の際、「0001」が他のフォーマット上のリンクデータで使用されているかどうか自動的にチェックされます。

呼出しコードテーブルは手動で編集することができます。[編集ツールを表示]ボタンをクリックすると、[編集][削除][全てを削除]ボタンが使用可能になります。誤った操作で呼出しコードテーブルが変更されてしまい、復旧できなくなった場合は、[全てを削除]を実行してください。その後、印刷に使用するフォーマットを開き、[データテーブル]タブにある[一括登録]を実行すれば、呼出しコードテーブルに再登録されます。



## データテーブルのチェック

データテーブルのデータをチェックして、ラベラーで正しく印字できるかどうかを確認できます。[データテーブル]画面の[データチェック]ボタンをクリックしてください。エラーメッセージが表示された場合は、そのメッセージに従って修正してください。

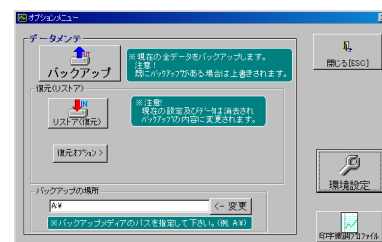


# オプション・環境設定

## オプションメニュー

[オプションメニュー]では、データのバックアップ・リストアや、各種環境設定を行えます。

[メインメニュー]で[オプションメニュー]ボタンをクリックして開いてください。



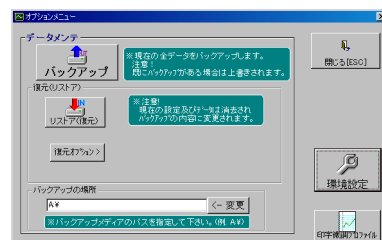
## データのバックアップ・リストア

### バックアップ

登録されている印字フォーマット、登録データ、設定ファイルをすべてバックアップします。

#### 1 バックアップ先([バックアップの場所])を確認します。

- バックアップ先にすでに以前のバックアップがある場合は、上書きされます。
- バックアップ先のデフォルトは「A:¥」(通常はフロッピーディスク)です。変更する場合は、[参照]ボタンをクリックし、[フォルダの選択]ダイアログで指定してください。



#### 2 [バックアップ]ボタンをクリックします。

- 確認のメッセージが表示されます。

#### 3 [OK]をクリックしてバックアップを開始します。

- バックアップが終了するとメッセージが表示されます。

#### 4 [OK]をクリックして終了します。

### リストア

バックアップしたデータをリストア(復元)します。

#### 1 リストア元([バックアップの場所])を確認します。

- デフォルトは「A:¥」です。変更する場合は、[参照]ボタンをクリックし、[フォルダの選択]ダイアログで指定してください。

#### 2 [リストア]ボタンをクリックします。

- 確認メッセージが表示されます。

#### 3 [OK]をクリックしてリストアを開始します。

- リストアが終了するとメッセージが表示されます。

#### 4 [OK]をクリックして終了します。

#### 参考

- リストアする項目を限定する場合は、[復元オプション]をクリックして、リストアする項目のみにチェックを付けてください。
- [アプリケーション設定]は、アプリケーション環境を復元するためのものです。通常はチェックを付けないでください。

## 環境設定

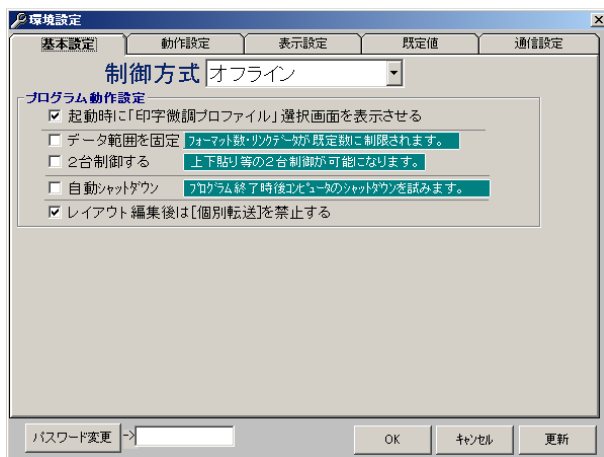
環境設定では、フォーマットエディターの動作やラベラーの基本動作を設定します。  
[オプションメニュー]の[環境設定]ボタンをクリックして、[環境設定]ダイアログを開いてください。



### 注意

- 環境設定はすべての動作に影響します。必要がない限り、設定を変更しないでください。

## 基本設定

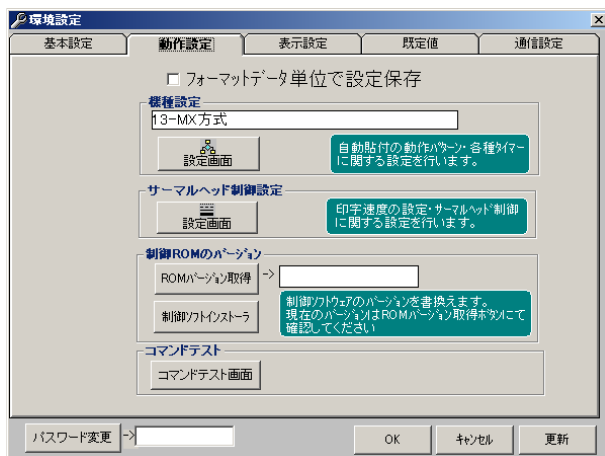


制御方式	ラベラーの動作モード(オンライン/オフライン)を設定します。
起動時に「印字微調プロファイル」選択画面を表示させる	フォーマットエディター起動後、自動的に[印字微調プロファイル選択]画面を表示します。
データ範囲を固定	フォーマット数、リンクデータを規定数に制限します。
2台制御する	「上下貼機」の場合など、2台のラベラーを一括制御します。
自動シャットダウン	フォーマットエディター終了後、自動的にパソコンの電源を切ります。 ● パソコンの設定・環境によっては、自動シャットダウンを行えない場合があります。
レイアウト編集後は[個別転送]を禁止する	レイアウトを変更した後に個別転送を行うと、印字化けが発生する可能性があります。これを防ぐために、通常は禁止状態で使用してください。

### ■ オンライン専用の設定

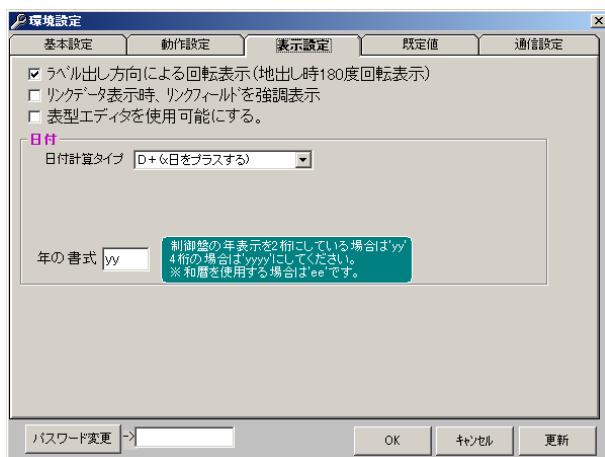
オンライン専用 日付書式	制御盤の機能にない特殊な日付印字を可能にします(オンラインモードのみ)。
起動時印刷画面	フォーマットエディター起動後、自動的に[ラベル印刷・貼付作業]画面を表示します。
日付の変更ボタンを表示する	[ラベル印刷・貼付作業]画面に[日付変更]ボタンを表示します。
自動運転停止前に、画面を初期化する	自動運転を停止した際、プレビュー表示を消去します。
印刷データ送信後、1枚ラベル発行させる	印刷データ送信後、自動的にラベルを1枚発行します。
印刷データ送信前、テストパターン印字を1枚発行させる	印刷データの送信前に、自動的にテストパターンを1枚発行します。
印刷画面でのナンバリングを無効にする	[ラベル印刷・貼付作業]画面でのナンバリング開始番号の入力を禁止します。
印刷画面でのプリンター出力を可能にする	プリンタードライバーのイメージ出力機能を有効にします。

## 動作設定



フォーマットデータ単位で設定保存	個々のフォーマット情報に、以下の[機種設定]と[サーマルヘッド制御設定]の内容を含ませます。これらを共通設定にしない場合は、チェックを付けます。
機種設定	ラベラーの貼付タイプと各種タイマー設定画面を開きます。
サーマルヘッド制御設定	サーマルヘッド制御設定画面を開きます。
ROMバージョン取得	制御盤のソフトウェアバージョンを表示します。
制御ソフトインストーラ	制御盤のソフトウェアアップデートを開きます。
コマンドテスト画面	OSPのメンテナンス用です。使用しないでください。

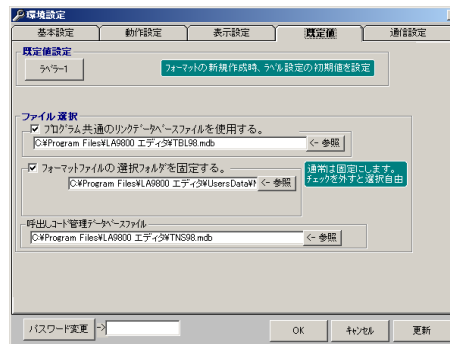
## 表示設定



ラベル出し方向による回転表示	繰り出し方向が地出しの場合、ラベルが正方向になるように表示を回転させます。
リンクデータ表示時、リンクフィールドを強調表示	データテーブルの編集時、プレビューでの「リンクアイテム」をすべて強調表示します。
表型エディタを使用可能にする	フォーマットエディターの旧バージョンと同様の表型エディタを使用可能にします。 ● チェックを付けると、[フォームの編集]画面に[表型エディタ]画面が追加されます。
日付計算タイプ	「当日を含む」または「D+(x日をプラスする)」のどちらかを選択します。
年の書式	年の書式(桁数)を設定します。制御盤の表示設定と同じ設定にしてください。 ● 制御盤が2桁の場合はyy、4桁の場合はyyyyを設定してください。和暦にするにはeeを設定してください。

## 既定値

既定値設定	新規フォーマット作成時の[ラベルの作成]ダイアログの初期状態を設定します。
ファイル選択	データテーブル、ラベルレイアウトファイル、転送用データベースの格納場所を設定します。



## 通信設定

ラベラー制御盤の通信設定に合わせて、RS-232C 通信の設定を行います。

- [ボーレート]と[パラメータ]は変更しないでください。



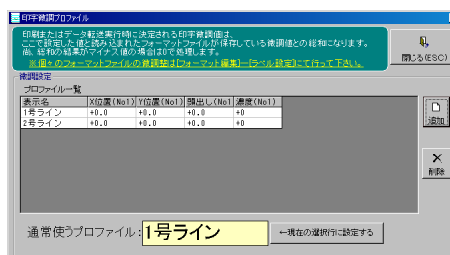
## パスワード

[環境設定]ダイアログの設定内容を他の人が変更できないように、パスワードで保護することができます。

1. [パスワード変更]ボタンをクリックします。
2. ダイアログの[OK]をクリックします。
3. パスワードを入力して、[OK]または[更新]をクリックします。

## 印字微調プロファイル(ラベラーごとの微調整)

印字位置、頭出し量、印字濃度などの特性は各ラベラーでそれぞれ異なります。そのため、ラベラーを複数台使用する場合には、同じデータでも、出力するラベラーによって印字品質が異なることがあります。フォーマットエディターでは、[印字微調プロファイル]で個々の特性を調整することによって、ラベルの印字品質を均一に保つことができます。



1. 基準となる1台を決定し、そのラベラーを使用して[ラベル設定](⇒p.10)を設定します。
2. 次のラベラーで印字を行い、印字品質を確認します。
3. [印字微調プロファイル]ボタンをクリックします。
4. [追加]ボタンをクリックしてプロファイルを追加します。
5. 変更する数値を選択し、[Enter]キーを押します。
6. 調整値を入力し、[Enter]キーを押します。
7. [閉じる]ボタンをクリックして設定を終了します。

- プロファイルを削除するには、プロファイルを選択して[削除]ボタンをクリックします。
- 通常使用するプロファイルを設定するには、プロファイルを選択して[現在の選択行に設定する]ボタンをクリックします。





# 大阪シーリング印刷株式会社

本 社 大阪市天王寺区小橋町 1 番 8 号 TEL(06)6763-6771(代)  
東京支社 東京都中央区築地 2-11-24 第 29 興和ビル TEL(03)3248-1759(代)  
支 店 北海道東北・千葉・横浜・関東甲信越・静岡・名古屋・中国・四国・九州  
営 業 所 札幌・北日本・東北・福島・新潟・埼玉・群馬・西東京・長野・浜松・岐阜・金沢・  
京都・南大阪・神戸・岡山・広島・米子・松山・福岡・北九州・熊本・鹿児島・沖縄

<http://www.osp.co.jp>

お問い合わせは

へどうぞ



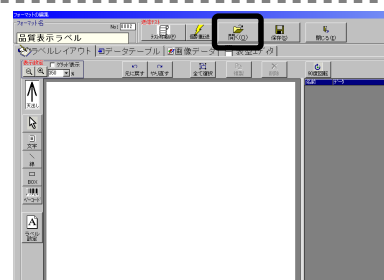
# LA フォーマットエディター 操作説明書 データ登録編

## フォーマットを開く

データを登録・編集するフォーマットを開きます。

### 1 [フォーマットの選択]画面を表示します。

- [メインメニュー]からは[ラベルフォーマット編集]ボタンをクリックしてください。
- [フォーマットの編集]画面からは上部の[開く]ボタンをクリックしてください。



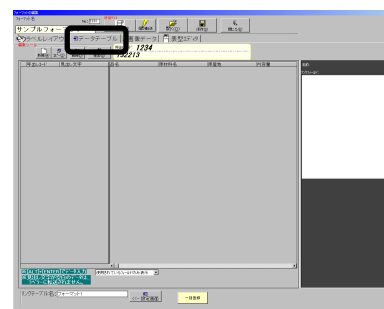
### 2 [フォーマットファイルの一覧]からフォーマットをクリックして選択し、[決定]ボタンをクリックします。

- [フォーマットの編集]画面が表示されます。



### 3 [データテーブル]画面を表示します。

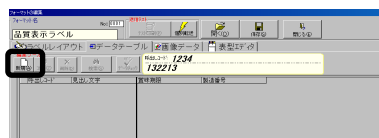
- [データテーブル]画面が表示されていない場合は、[データテーブル]タブをクリックして表示してください。



## データを登録する

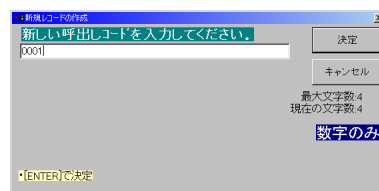
### 1 [新規]ボタンをクリックします。

- [新規レコードの作成]ダイアログが表示されます。



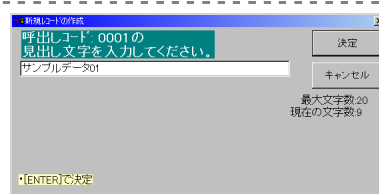
### 2 呼出しコードを入力して、[決定]ボタンをクリックします。

- 他のものと重複しない一意の呼出しコードを指定してください。
- 文字数の制限はダイアログの表示に従ってください。



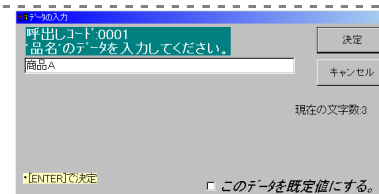
### 3 見出し文字を入力して、[決定]ボタンをクリックします。

- 文字数の制限はダイアログの表示に従ってください。
- カーソルが1つ目のフィールドに移動します。



### 4 [Alt]+[Enter]キーを押して[データの入力]ダイアログを表示します。

- [Alt]キーを押した状態で[Enter]キーを押してください。



### 5 データを入力して、[決定]ボタンをクリックします。

- 入力したデータがプレビューに反映されます。

### 6 [Tab]または[→]キーを押してカーソルを移動し、必要なデータをすべて入力します。

- フィールドはクリックして選択することもできます。

#### [このデータを既定値にする] チェックボックス

チェックを付けると、ここで入力するデータが、新規作成時の既定値として表示されます。

## ■ JAN コードのチェックデジットについて

JAN コードのチェックデジット(モジュラス 10)は、自動的に付加することができます。JAN13 の場合は 12 桁(JAN8 の場合は 7 桁)を入力して、[決定]ボタンを押してください。

また、チェックデジットを含むデータを入力すると、データが間違っている場合にはエラーメッセージが表示されます。

## 画像を入力する

リサイクルマークやロゴマークなどの画像は、画像データ番号(4桁の数字)で指定します。

[画像データ]画面で画像を確認し、[データテーブル]に画像データ番号を入力してください。

- [画像データ]画面で画像データ番号をクリックすると、画像のプレビューが表示されます。
- 必要な画像が[画像データ]画面にない場合は、新規に登録する必要があります(⇒フォーマット作成編)。



## データを変更する

### データテーブルで変更する

新規入力と同じ要領で変更できます。

- 1 変更するフィールドをクリックして、[Alt]+[Enter]キーを押します。
  - データ入力用ダイアログが表示されます。
- 2 データを変更して[決定]ボタンをクリックします。
  - データは、[決定]ボタンをクリックした時点で保存されます。[保存]ボタンをクリックする必要はありません。

### プレビューで変更する

右側に表示されているプレビューから変更する部分を選択します。

- 1 ラベルのプレビューを表示します。
  - 変更するデータがある行内であれば、どの欄をクリックしてもかまいません。
  - 選択したデータの行頭には、レコードポインタが表示されます。

レコードポインタ

呼出しコード	見出し文字
0001	サンプルデータ01
0002	サンプルデータ02
0003	サンプルデータ03

- 2 プレビューで、変更するデータをクリックします。
  - 選択したデータが赤色に変わります。
- 3 マウスを右クリックします。
  - データ入力用ダイアログが表示されます。
- 4 データを変更して[決定]ボタンをクリックします。
  - データは、[決定]ボタンをクリックした時点で保存されます。[保存]ボタンをクリックする必要はありません。

名前: 文字-09  
リサイクル: 原材料名

品名	商 品	A
原材料名	材料1、材料2	
原 産 地	日本海	
内 容 量	100g	
消費期限	2003.09.30	
保存方法	要冷蔵(5℃以下)	
製 造 者	株式会社OSP	
	大阪市天王寺区小橋町1番 TEL06-6763-6771	

1 234564 567894

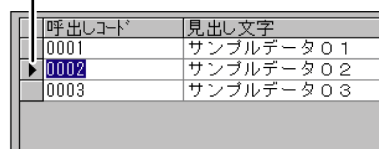
## データをコピーする

既存のデータをコピーして新しいデータとして入力できます。

### 1 コピー元のデータをクリックして選択します。

- コピー元データの行内であれば、どの欄をクリックしてもかまいません。
- 行頭のレコードポインタが選択した行に移動します。このレコードポインタがあるデータがコピーされます。

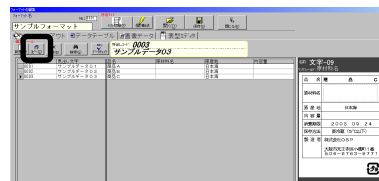
レコードポインタ



呼出しコード	見出し文字
0001	サンプルデータ 0 1
0002	サンプルデータ 0 2
0003	サンプルデータ 0 3

### 2 [コピー]ボタンをクリックします。

- [新規レコードの作成]ダイアログが表示されます。



### 3 呼出しコードと見出し文字を入力します。

- 新規登録と同じ要領で入力してください。

### 4 必要に応じてデータを変更します。

- データの変更方法⇒p.3

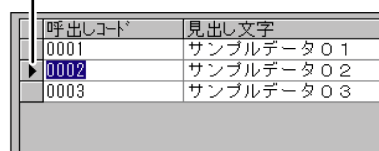
## データを削除する

一度削除したデータは復元できません。注意して削除してください。

### 1 削除するデータをクリックして選択します。

- 削除するデータの行内であれば、どのフィールドでもかまいません。
- 行頭のレコードポインタが選択した行に移動します。このレコードポインタがあるデータが削除されます。

レコードポインタ



呼出しコード	見出し文字
0001	サンプルデータ 0 1
0002	サンプルデータ 0 2
0003	サンプルデータ 0 3

### 2 [削除]ボタンをクリックします。

- 確認のダイアログが表示されます。

### 3 [OK]をクリックして削除します。